

郡市PTAの講演会一覧表(平成26・27年度) ※講師の肩書き等は講演当時のものです

年度	郡市PTA	講師名	講師の肩書き等	演題名	講演内容
26	全佐久	北澤 和恵	伊那市立東部中学校 栄養教諭	食育とお弁当の日	文部科学大臣賞をいただいた学校給食の実態とPTAの役割。
26	全佐久	藤川 大祐	千葉大学教育学部教授 安心ネットづくり促進協議会	スマホ時代を生きていく 子供たちのために	会話から対話へ。 子供と話そうネットのこれから。
27	全佐久	松島 恒志	佐久市教育委員会 主観指導主事	メディア漬けを改善し 子どもらしく育てたい	親としてのすてきな子どもの育て方。
27	全佐久	栗林 幸治	東信教育事務所 生涯学習課指導主事	信州型コミュニティスクール とPTA活動	各校の学校ボランティアの紹介。 地域の中で育つ子どもたち。
26	上小	岸 裕司	文科省コミュニティスクール マイスター	学校を拠点にまち育て	学校を拠点に生涯学習と福祉コミュニティプラス。 地域ぐるみの子育てコミュニティを作っていきたい。
26	上小	森本 晋也	岩手県教育委員会	自分の身を守る 子どもの安全教育	震災の経験を踏まえ、子どもが自らの身を守ろうとする意識の向上をめざした安全教育の大切さ。
27	上小	長田 徹	文科省教科調査官	社会総がかりの子育て	学校は地域の拠点であり、PTA保護者のみならず地域住民を巻き込んだ生涯学習・安全面等々の拠点としていきたい。
27	上小	川口 真理子	千葉県助産師会	親として知っておきたい 子どもの性	現代社会は、子どもたちはさまざまな性情報に接している。親は、その中で適切に子どもに接していきたい。
26	更埴	長谷川 正之	長野県農政部農業政策課 農作物マーケティング室 企画幹	PTA会長をやって、 こんなに人生が変わった！	元坂城町立南条小学校PTA会長であった経験を元に、PTA活動を楽しく、前向きに取り組む方法を講演して頂いた。
26	更埴	原田 綾子	勇気づけの親子教育専門家 (株)HeartySmile代表取締役	ママ(パパ)が輝く！ 子どもが輝く！ 勇気づけのコミュニケーション	「子どもを勇気づければ、子どもが輝く！親も輝く！」 自身の教員経験・子育て経験も踏まえ、どうすれば子どもが勇気づけられるかを講演して頂いた。
27	更埴	赤羽 文恵	長野県教育委員会 教学指導課主任指導主事	心で向き合う家庭教育 ～県内の家庭学習・ 生活習慣の状況より～	家庭での過ごし方や家庭学習が学力にどう関連しているか、「やる気スイッチをONする方法」など家庭教育に関して幅広く講演して頂いた。
26 27	更埴	宮原 明人	坂城町立南条小学校教頭	ネットで子どもを 加害者にさせないために	子どもたちがネットで被害者になる事案も多いが、逆に知らずにやっていることが加害者・犯罪になることがあることを事例を紹介しながら、親の責任を中心に講演して頂き、この講演を基に参加者でグループワークを行った。
26	諏訪地区 中高	伏木 久始	信州大学学術研究院(教育学系) 教授	子ども達が大人から学んでいること	子どもの生活環境をめぐる実態、教師と保護者との関係、子どもが育つ環境の見直し、私たちにできること・すべきことについて。 ※諏訪地区・中高 2地区で開催
27	諏訪地区	高橋 史	信州大学学術研究院(教育学系) 准教授	なぜ、この子は言うことを聞かないのか？今日からはじめる 行動改善法～人間編～	家庭のあり方、お互いにいたわり合うことの大切さについて。
26	上伊那	唐木 義則	元東日本国際大学・いわき 短期大学入学課顧問	「あの日を決して忘れない」 ～未来を生きる君たちへ～	東日本大震災直後から生徒と共に学校で生活し、5日間かけて生徒全員を無事保護者の元へ返したという体験を元に震災で失った物は何か。これから私たちはどう生きるべきかについてお話をいただいた。
27	上伊那	篠原 菊紀	諏訪東京理科大学共通教育センター教授	「子どもの脳の働きを伸ばす 子育ての秘訣」	子どもの良いほめ方わるいほめ方等、脳科学をもとに子育ての秘訣についてお話をいただいた。
26	飯田・下伊那	坂井 公淳	多文化共生子どもサポート 団体「感環自然村」代表	「If not you...who?」 ～あなたがやらなければ誰がやる？～	現在活動している「感環自然村」に至るまでの自分の経験を通じ、子どもに対しての関わり方の可能性について。
27	飯田・下伊那	後藤 武志	飯田市危機管理室防災係 長	「災害から命を守る」 ～今すぐ子どもにもできる防 災対策～	命を守るをキーワードに、防災知識の習得、命を守るための事前対策、地域の防災活動を考える。
26	木曾郡	石川 結貴	作家	「おとなの知らない子どもの世界」	主な著作 ・ルポ 子どもの無縁社会 (中央公論社) ・暴走育児 (筑摩書房)
27	木曾郡	金森 強	関東学院大学教授	「英語が好きで、英語ができる 子どもを育てるために」～幻 想や思い込みからの解放、真 のグローバル人材へ～	著書 ・「英語」であなたの子どもが変わる (研究社) ・英語力幻想 (アルク) ・小学校外国語活動の進め方～ことばの教育として～ (成美堂)
26	東筑摩・塩尻	山本 文子	NPO法人いのちの応援舎 理事長	いのちの大切さ	性教育を通して「いのちの大切さ」を訴えている。命はひとつしかない。命ってあったかい、今を精一杯生きる。
27	東筑摩・塩尻	筒井 正浩	メンタルコーチ	「心で向き合う子育て学」 愛と感謝 ～君がいるから人 は幸せになる～	「愛と感謝」を持って、人と人を繋げます。 子供を元気にさせる、「夢」を「予定」に変える、地球を笑顔でいっぱいにする。そのために知っていることはすべて伝える！
26	大北	林 明子 山本 恭子 一柳 紀子 新井 志津代 千國 直見	長野県発達障がい者サ ポーター養成講座 認定講 師	困り感を抱えるひとの身近な 理解者になるために	発達障がいについての基本的理解。 身近な場所での具体的接し方。

郡市PTAの講演会一覧表(平成26・27年度) ※講師の肩書き等は講演当時のものです

年度	郡市PTA	講師名	講師の肩書き等	演題名	講演内容
27	大北	今関 達弥	城西病院 Sウェルネスクラブ松本 健康運動指導士	実践 体ケア ～疲労回復でもっとあなたは 輝ける～	「体ケア」とは。 子育てや仕事などで疲れた体をリフレッシュするには。 ストレッチ運動の実際。
26	松本	高野 優	育児漫画家	子は育ち、親も育つ。楽しまな くちゃもつたいない。	年頃のお子さんかいる保護者の悩み、反抗期、思春期のことや、 親としての誰しもが経験する子育ての過程においての様々なお 話を高野さん自身の経験などをふまえながら、絵をかきながら話 すというスタイルで参加者の皆さんに楽しくアドバイスして頂い た
27	松本	安藤 淳 前田 直輝	松本山雅FC選手	松本山雅トークショー	サッカー選手になるまでの、幼児期からの両親とのかかわり合い についてのお話から、サッカーを始めたきっかけなど、多くの一般 観覧者に興味深いお話を頂いた。
26 27	上高井	石田 智子	NPO法人ハロードリーム ファシリテータ	笑顔のコaching	笑顔のコachingは複数回受講する事で成果がでます。(参加型 講演) 26年度は笑顔の引き出しかた、相手の思い等説明後パートナー との実体験。27年度は夢レター(1年後の自分への手紙)の実 践
27	上高井	比田井 和孝	上田情報ビジネス専門学校 副校長	全ては子どもたちの幸せのため に	生徒や保護者のしあわせへの思い。 本当のしあわせとは？
27	中高	眞榮城 和美	清泉女学院大学准教授	子どものコミュニケーション能 力を高める親子関係	子供との触れ合い方、コミュニケーション方法について。 子どもだけでなく親も考えたい「5年後はどんな人になってい る？」 「心の健康」についてなど。
26	上水内郡	前田 好文	北信教育事務所指導主事	「信州型コミュニティースク ール実施に向けて」	家庭、学校、地域の連携。
26	上水内郡	矢沢 秀成	NHK「趣味の園芸」講師 ながの花と緑そして人を育 てる学校校長 育種家	「人は花を育てる 花は人を 育てる」	子どもの成長。体験活動。
27	上水内郡	山本 文子	NPO法人「いのちの応援 舎」(香川県)代表・助産師	「いのち輝いて」ベテラン助産 師が本気で語るいのちと自分 を愛することの大切さ	子育てに奮闘する親たちに対し、「性教育のあり方、若者の実 情、いのちの尊さについて」
26	飯水	塚原 成幸	臨床道化師 清泉女学院短期大学 幼児教育科 専任講師	笑顔は人をしあわせにする	お互いの信頼感を高める笑顔の可能性について、笑顔づくりに 役立つ道化師的な発想の仕方についての講演であった。
27	飯水	松島 伸浩	花まるグループ スクールFC代表	わが子を『メシの食える大人』 にする思春期の子育て	自立するまでに、自立するように、親は子どもとどう向き合えばよ いか、指導経験や自己体験をもとに楽しくためになるものであ った。
26	長野市	依田 司	気象予報士・テレビ朝日天 気キャスター	子どもの夢を育む	地球上における水の大循環と温暖化について。 夢を持つこと、夢をあきらめないこと、親としてできることにつ いて。
27	長野市	清川 輝基	NPO法人子どもとメディア 代表理事	「メディア漬けで壊れる子ども たち」 ～親・教師は何をすべきか～	スマホやゲーム機などの電子メディアが子どもや若者、子育て中 の若い親などに広がる中で、子どもの育ちに異変が現れている。 子どもの学習や学校教育への影響が指摘されている。